

令和4年度 教科用図書の採択理由（広島中学校）

種 目	発行者	採 択 理 由
社 会 (歴史的分野)	東書	基礎・基本の定着，内容の構成・配列・分量，内容の表現・表記，言語活動の充実の観点において，全般的に優れている。特に，全ての単元のまとめにおいて，多面的・多角的に考察させ，他者と協働を促すような言語活動を取り入れるとともに，書く活動も示しており，諸資料から歴史に関わる事象についての様々な情報を効果的に収集し，読み取り，自分の考えをまとめ，目的に応じて適切に表現する力を身に付けさせることができるよう工夫されている。 主体的に学習に取り組む工夫の観点では，「身近な地域の歴史」の学習において，調査活動の留意点や手順が一つの単元にまとめて掲載されているため，生徒が自ら課題を設定し，整理・分析し，振り返ることができるようになっている。また，全ての単元の導入に，興味・関心を引き出す資料が掲載され，動機付けの活動が示されるとともに，単元に見通しをもたせるための問いが設けられ，生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 学校の特色を生かす工夫の観点では，1時間の授業ごとの学習内容について，複数の学習課題が示される構成となっており，学習課題を解決していくことで，科学的・論理的な思考力・的確な判断力を育てることができるように工夫されている。